



MIHARU
Rotary

Rotary Program

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング「奉仕の理想」
3. 四つのテストの唱和
4. 会長挨拶
5. 幹事報告
6. 各委員会報告
7. ゲスト卓話
8. 閉会点鐘

~~田村警察署 根本署長~~
緊急事態発生に伴い欠席

2020-21三春ロータリークラブ テーマ
明るく・楽しく・元気に活動する三春ロータリー

●三春駅

ゲスト卓話例会 → 会員の近況報告

令和2年7月30日（木） 12:30～場所：割烹 八文字屋

会長挨拶 山口 進

皆さんこんにちは。例会の会長挨拶を行います。今日は、私の1日の生活の一端を話しますので、皆さんに参考になることがありましたら幸いです。

朝5時に起床し、先ず神様、仏様にお米、お茶、ご飯を上げ、6時に開成山大神宮へ参拝しお祓を受けます。お賽銭は1週間分をまとめて日曜日に投銭します。参拝後、約30分間で3千歩開成山公園内を散歩します。

帰宅し新聞、エールを見ながら朝食ですが、その前に必ずスムージを飲みます。スムージは、ブルーベリー、リンゴ、小松菜、人参、サル梨、キノコ、豆乳、粕漬で作った飲み物です。朝食が終わって、8時15分に妻とマッサージに行き、約40分間電気と毛もみを行ってきます。このマッサージは保険が使用できます。9時に妻を本部事務所に送り届け、午後4時に迎えに行きます。この妻の送迎が1日で拘束される時間で、それ以外の時間帯はフリータイムです。

私は9時20分に、モーニングコーヒーを兼ねて郡山観光整備工場の現場に行きます。その後坪井病院下の郡山観光タクシー、セブンイレブン安積店に顔お出し、働いているところを見、感謝の言葉を掛けてきます。

昼食は、朝持参したおにぎりです。おにぎりだと、食べ過ぎないこと。どこでも食べられ会社、知人、友人宅を含め訪問し営業も兼ねて会話もでき、友好を深めるのに大いに役立っています。今は、コロナ問題で控えめにしており我がまま、の効くところのみ訪問しております。行動範囲は主に、白河から二本松で、1日100キロ位走行しております。運転免許は、今年2月に書き換えて3年間85歳までもらいました。しかも、今回は眼鏡使用の条件が外れました。スムージの効果かと感謝しております。夕方は、妻を本部に迎えに行き、文化センター東側にある自宅に届け、私はその後、太田病院熱海水明荘の温泉に行き、帰宅します。夕食後8時過ぎに、床に入ります。健康管理を最優先に毎日過ごしており、82歳までの人的資源を有効に活用し、皆様の為に、明るく、楽しく、元気に活動していきます。何なりとご用命ください。コロナ対策の福島県民限定割引プラン案内を配布しましたので、見てください。ご清聴有難うございました。



幹事報告 川又 暉之

1. 委員会報告の提出、委員会計画書の提出について
2. 三瓶一壽さんより、2020-21年度 地区ロータリー財団セミナーの報告を預かっていますので発表します。

2020-21年度 地区ロータリー財団セミナー報告 三瓶 一壽

去る7月18日(土)13:30より、福島県農業総合センターにおいて「2020-21年度 地区ロータリー財団セミナー」が開催されましたので、報告いたします。セミナーは石黒ガバナーの挨拶に始まり、平井パストガバナー地区研修リーダーの挨拶、早川敬介財団委員長の挨拶の後に、本セミナーが開始されました。

<補助金委員会>:大野順道委員長が各補助金について縷々説明されました。

[事例報告・1]

会津若松RC・佐藤典祐前会長から、グローバル補助金申請のための現地調査に地区補助金を利用した事例の発表があった。

<資金推進・ポリオ委員会>

佐藤悦夫委員長からポリオ根絶の為に今年度も、達成協力をお願いします。
「30 \$ /年・ロータリアン」

[事例報告・2]

地区補助金を活用して、郡山に伝わる民話を読み聞かせるCDを作成して市内の図書館に配布したり、各施設での読み聞かせイベントを行う予定が、今般のCOVID-19の影響で、外部でのイベントが尽く中止となってしまい、大変残念な思いばかりの年度であった。

<財団資金管理委員会>

川又暉之委員長・・・種々の申請期限についての期日は厳守をお願いします。特に報告書HO-050については地区内の1クラブが遅れると、RIに報告書が遅れなくなり、このことにより地区内全クラブへの補助金送金が1か月単位で遅れてしまいます。全クラブに迷惑をかけることとなります。くれぐれも、肝に銘じてよろしく対応願います。

<DRFC>

早川敬介委員長より、グローバル補助金の活用とその注意点について解説がありました。先の会津若松RC同様、グローバル補助金申請の調査ためにも地区補助金の活用ができます。チャレンジしてください。

[事例報告・3]

保原RC岩淵敦元会長の報告と賛同協力クラブの呼びかけ募集
(ガバナー月信5月号掲載) ※本会報に掲載

<講評>

相談役・佐原元PDG・・・今日は素晴らしいセミナーの開催となり大変良かった。ロータリアンの皆さんにはポリオプラスへの協力、そして保原RCへの協力については是非とも考えてほしい。皆さん、ちょっと一杯を少し我慢すると何とかなるのではないのでしょうか。。。

★最後に、本年度の財団委員会スケジュールです。

2020.11.21:補助金管理セミナー(欠席の場合次年度補助金申請・不可)/MOU受付開始

2021.01.31:覚書(MOU)提出締切

2021.03.31:地区補助金申請書の提出締切 2021.05.20:地区補助金報告書(HO-050)提出締切

グローバル補助金事業支援のお願い（保原 RC）



保原 RC 会長 木幡 睦人

現在当クラブでは、アフリカ・ルワンダ共和国に対するグローバル補助金申請の準備を進めております。今般本事業の計画が固まってきましたので、RI 2530地区の皆様概要をご報告するとともに、本事業に対するご支援をお願いする次第です。

1. プロジェクト名

- ルワンダ共和国ギチュンビ郡ミヨベ地区に居住する最貧困層住民の自立支援

2. プロジェクトの受益者

- ミヨベ地区に居住する25戸の住民（約130名）

3. プロジェクトの推進団体

- 実施国クラブ：
キガリ・ヴィルンガロータリークラブ
- 援助国クラブ：
保原ロータリークラブ⇒支援クラブを募集中
- 協力団体：
NPO法人ルワンダの教育を考える会（福島市）

4. 重点分野と計画内容

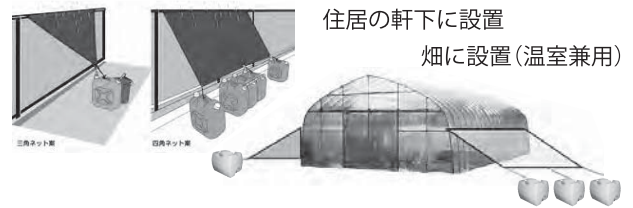
この地域に居住する住民は26年前のジェノサイド①の影響もあり教育をほとんど受けておらず、識字率も5%以下です。そのため、安定した収入源を持ちません。また標高2,000mを超える高地のため、水の安定確保もままならず、農業もまともにできません。住環境も含めて衛生状態も非常に悪く、乳幼児の死亡率が異常に高いという問題もあります。このような状況から、住民との話し合いを通じて以下のようにプロジェクトの内容を整理しました。期間は2020/2Q～2023/1Qを予定しています。

ミヨベの住居は環境が劣悪、作物もほとんど育たない



◇重点分野：水と衛生

- 雨水貯水装置の各戸毎の設置、生活・農業用水の確保（ビニールシート・温室の活用）
- 各戸へのかまど設置（貯水の煮沸消毒の習慣化や調理環境の衛生化）
- 石鹼製作技術教育（手洗い・洗濯の習慣化）



◇重点分野：経済と地域社会の発展

- 農産物の生産効率向上による収入源の確保と生活の安定化⇒農地調査／土壌改良、農法や栽培法の教育、引水と灌漑システムの構築、農地の拡大など
- 木工／土木技術の教育⇒廃材を活用した住居の高床化や家具製作、日干し煉瓦や土壁製作などの活動を通じたスキル教育など
- 村全体の自立支援⇒集会所の建設を通じた地域コミュニティの確立、農業や土木作業の共同化、就業機会の創出など



5. 予算

- 総額：\$66,000規模、WF負担額は\$33,000、実施国・援助国双方の地区及びクラブ負担額はそれぞれ\$9,000・\$24,000程度を予定

6. 今後の予定

- 本年度中にオンライン申請～審査を経て、次年度早々に事業を開始したい

RI 2530地区の各クラブの皆様には、資金面でのご支援をお願いしたいと考えております。

1クラブ\$100でも結構です。趣旨をご理解の上何卒ご協力を賜りますようお願い致します。

注①：アフリカの大地で起こった20世紀最大の悲劇、「ルワンダ虐殺」。1994年、フツ族系の政府とそれに同調する過激派フツ族の手によって、100日間で少数派ツチ族と穏健派フツ族80～100万人が殺害されたとされる。



委嘱状授与



公共イメージ・IT委員会担当相談役
佐久間 英一さん



ロータリー財団委員会
財団資金管理委員会 委員長 川又 暉之さん

※ 米山記念奨学会委員会 米山記念奨学会推進委員会 委員に影山吉則さんがなられました。

会員の近況報告

例会の参加された会員一人一人から、現在の近況報告が発表されました。
新型コロナウイルスの影響による、業務の変化等発表がありました。

友好クラブの活動紹介

春日部西ロータリークラブ(埼玉)



第1767回例会

令和2年7月9日(木)

各奉仕部門委員長より年度
計画方針の発表でした。
春日部イブニングロータリーク
ラブ神谷会長、伊豆幹事がご
挨拶にお見えになりました



第1768回例会

令和2年7月16日(木)

総会(決算・予算報告)
岩上暢夫会員より「斜陽産業
の楽しみ方」卓話をいただき
ました。